

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O

2004

11

November

4.5 **特集** 「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の推進について

- 2 **トピックス** 第27回全国公民館研究集会開催
- 3 **視点** 人は人を輝かせる
- 3 **ひろば** 市町村合併と社会教育委員
- 6 **実践記録シリーズ** 市民の能力を引き出す公民館づくり
- 7 **サークル交流** 歩々の会（長岡市）／なだち太鼓「紅」（名立町）
- 7 **素顔拝見** 田中未来さん（燕市）／山崎久美子さん（湯沢町）



「キッズ倶楽部 そば打ち体験」西川町

第27回全国公民館研究集会開催 新しいまちづくりと公民館の創造

「新世紀に生きる「ひと」が輝き、

「地域」が輝く公民館活動を創造する」

去る10月14日(木)～15日(金)の二日間にわたり、熊本県立劇場を主会場に、3,000余名の多数の参加を得て、第27回全国公民館研究集会が開催された。

今回の研究テーマは、新しいまちづくりと公民館の創造「新世紀に生きる「ひと」が輝き、

「地域」が輝く公民館活動を創造する」と設定し、大会初日には十分科会に分れて終日熱心な討議が展開された。

本県からの二名は、いずれも十分科会の「市町村合併と公民館」に参加し、新潟県内の状況・県公連としての対応等具体的な事例をおして発言した。

第二日目の全体会セレモニーは、松下誠全公連会長のあいさつ、文部科学大臣

代理藤田明博大臣官房審議官、潮谷義子熊本県知事の祝辞、引き続き地元元幸山政史熊本市長の歓迎のあいさつがなされた

が、知事、市長とも原稿なしで人間味あふれるお話の内容で、とても印象深かった。

締めは、石川正夫全公連事務局長から緊急アピール文案が提唱され、満場一致の拍手で承認され、終了した。

アトラクションは、牛深市無形文



松下誠 全公連会長のあいさつ



「牛深ハイヤ踊り」

化財「牛深ハイヤ踊り」の公演で、熊本県立牛深高校郷土芸能部が全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門入賞のキャリアを生き、参加者を魅了した。この牛深ハイヤ節が北前船経山で佐渡に渡り、佐渡おけさが生まれたという。

最後の記念講演は、「夢限りなく」と題して、農業研修生と

して渡米、超重労働の傍ら猛烈な勉学を重ね、ハーバード大学院等で研究、東京大学法学部教授に至るまでの自らの貴重な体験を語られ、参加者に大きな感銘を与えた。

謹んで中越地震災害のお見舞いを申し上げます

この度の地震により被害を受けられました中越地区の皆様、心からお見舞い申し上げます。このうちは、一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

新潟県公民館連合会会長 佐藤信幸
役職員一同

謹んで中越地震災害のお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

新潟県公民館振興市町村長連盟
会長 関 広一

謹んで新潟県中越地震災害のお見舞いを申し上げます。

くれぐれもご健康に留意され、一日も早く復旧されますことを心からお祈り申し上げます。

(社)全国公民館連合会 会長 松下 誠
全国公民館振興市町村長連盟 会長 井原 勇

視点

人は人を輝かせる

新井市・いきいきARAIネットワーク 阿部知英子



私達女性団体は市教育委員会の指導のもと、ネットワーク化が大きく膨らんでいる。自分が輝き他人も輝く。そう信じて、市支援の「女と男ふれあいフォーラム」市と県女性財団支援「地域セミナー」を、登録団体で手探りながら会員を中心に実行委員会を構成、市民からも参画してもらい、毎年開催している。

講演会をはじめ、ワークショップ、自作自演の寸劇、トークと色々な方法で学習を重ねている。若い人、年配の人が共にひとつの事業を達成した充実感は勿論、活動を通

して女性の地位向上、社会参加の促進が根付いてきたと自負している。

親子ほど年齢差がある人と活動する時「そんなことも知らないの?」「あんな古いことを言ってる!」腹の探り合いも時にはあったが、様々な考え熱意を大切にした時不安や悩みは消えていった。「貴方なら出来る!」期待されるとやる気は高まる。期待と認められるといういい関係で人は輝くと思う。(今、旬の輝きかな)? 背中を押してくれる教育委員会と理解ある男性の愛情で!

HOT NEWS 掲示板

平成16年度 下越地区公民館関係役員研修会開催



- 1 研修テーマ 変革期における公民館活動
～熱気、活気、やる気のある公民館をめざして～
- 2 主催 下越地区公民館連絡協議会
3 共催 新潟県教育委員会、新潟県公民館連合会、新潟市教育委員会
4 主幹 三市北蒲原郡公民館連合会、村上市岩船郡公民館連絡協議会
5 期日 平成16年10月7日(木)～8日(金)
6 会場 月岡温泉「ホテル清風苑」
7 参加者 公民館職員及び公民館運営審議会委員等 186人
8 日程 (省略)
9 分科会
- ①第1分科会 テーマ「時代に即応した公民館」
主な発表内容(主題)～市町村合併と公民館、職員施設、四連施設と公民館～
発表者 小須川町中央公民館長 佐藤貞夫
司会者 亀田町公民館長 石澤正明
助言者 下越教育事務所社会教育課副参事 佐藤強平 篠原春
記録者 西川町社会教育係長
 - ②第2分科会 テーマ「少子・高齢化と公民館」
主な発表内容(主題)～子育て支援と公民館～
発表者 関川村生涯学習課長補佐 石山キン
司会者 朝日村公民館長 森 神二
助言者 下越教育事務所社会教育課副参事 清水伸二 橋
記録者 豊栄市中央公民館主任 岩淵 保
 - ③第3分科会 テーマ「学校と地域を結ぶ公民館」
主な発表内容(主題)～出前講座「教員後なごみサロン」等からみた公民館の役割～
発表者 新潟市石山地区公民館主任 新保光司
司会者 新潟市島原野地区公民館長 藤谷敏行
助言者 下越教育事務所社会教育課副参事 廣川 豊彦
記録者 佐渡市公民館係長 上原寿昭
 - ④第4分科会 公民館初任者研修会
テーマ「公民館職員のあり方・公民館利用者との関わり」
講師 下越教育事務所社会教育課副参事 田原 理雄
記録者 鹿瀬町公民館主事 斎藤洋美
- 10 分科会講評 下越教育事務所 社会教育課長 小松茂夫 篠原春
11 記念講演会 演題「変革期における公民館のあり方」
講師 さいたま市立岸町公民館長 片野親義 篠原春

市町村合併と社会教育委員

下田村社会教育委員 横山 正美

ひろば



下田村は三条市、栄町と来年5月合併することとなります。平成の大合併に関しては、当下田村と同様、県内の各市町村でも合併の動きがあります。

さて、この合併に関して賛成・反対の各々の立場、また様々な意見、考え方がありますが、私は一住民、また一社会教育委員の立場としての考えを述べさせていただきます。

当三条圏域と同様大半の地域は行政主導で合併の策定を行い、遂行されようとしております。そこで、住民は何をすべきか!

合併後の町づくりは住民が「自分たちの町は地元地域が造る」心掛けで、住民が一体となつて取り組み、公民館活動、地域行事、



はぐくむ運動」の推進について

また、運動の周知と理解を得るためのチラシやリーフレットを作成します。

運動の大きな柱としては、家庭教育や地域の在り方とその重要性について県民意識の醸成を図る周知・啓発活動と、家庭・地域の教育力の向上を図るための学習活動及び実践活動に分けられます。

(別添参照)

なお、この運動が全県的に展開されるよう、文部科学省委託事業で家庭教育に関する学習機会の提供等を推進する「家庭教育支援総合推進事業」及び、放課後や週末における安全・安心な子どもたちの居場所（活動拠点）の提供と体験活動の充実を図る「地域子ども教室推進事業」を財源として活用していきます。

5 おわりに

この運動は必ずしも地域で新たに組織を立ち上げたり、新たな取組をするというものではありません。

地域で既に様々な学習機会の提供や子どもをはぐくむ取組が十分行われており、また、子育てに関わる関係機関・団体のネットワークが構築され

ていれば、その活動を継続し、この運動を契機としてより活動を活性化し、内容を充実していただければ良いのです。

今現在それらの取組が少ない地域については、本運動の推進母体である「協議会」が情報提供や人材養成等で支援していきます。

この運動では、子どもをはぐくむ地域の民間団体が中心となりますが、教育委員会が地域の様々な団体をコーディネートする役割も大変重要です。また、取組を行うにあたっての活動拠点の提供も、大変重要なウェイトを占めます。

運動が地域に根付いたきめ細かな運動に発展するには、地域の大人一人ひとりの理解と協力が必要不可欠となります。



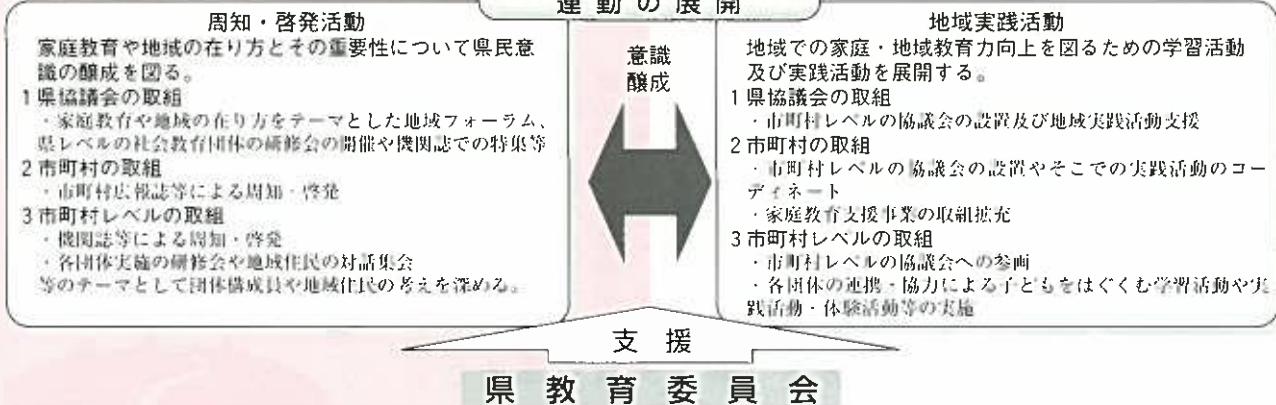
【平成16年度】

運動展開への基盤づくり

- 1 運動を推進する母体の設置（県協議会）
 - ・社会教育関係団体、青少年育成団体等で構成。
 - ・市町村レベルの協議会の立ち上げ促進。
- 2 推進プランの策定
 - ・市町村や社会教育諸団体へ説明、意見照会を行いながら策定し、運動の理解、気運醸成を図る。
- 3 運動推進啓発のためのリーフレットの作成・配布
 - ・推進プランの周知。地域の活動事例の紹介。

【平成17～18年度】

運動の展開



特集

「社会全体で子どもを」

新潟県地域家庭教育推進協議会事務局 (新潟県教育庁生涯学習推進課)

1 はじめに

家庭での教育は、子どもに基本的な生活習慣、豊かな情操、自制心や社会的なマナーなどをはぐくむもので、すべての教育の出発点であり、親や家族がその役割と重要性を認識していくことが大切です。

しかし、近年、大人の規範意識や倫理観の低下、子ども・家庭を取り巻く環境が大きく変化するなか、いじめ、非行、青少年犯罪などの深刻な問題とともに、親への過重な育児負担、子どもへの過保護・虐待など親自身の問題も多く見られ、「家庭の教育力の低下」や「子どもを支える地域社会のしきみが崩れてきていること」がきわめて憂慮されています。

このような現状の改善に向け、新潟県教育委員会では、新潟県生涯学習審議会に「家庭教育に関する意識を高めるための方策」について諮問し、平成16年1月「県民一人ひとりが家庭教育の重要性への理解を深め、家庭・地域・学校・関係団体・行政等が個々または連携協力して、社会全体で子どもをはぐくむ意識を醸成する県民運動を行う必要がある。」という提言を得ました。

2 運動の経緯

平成16年1月に出された新潟県生涯学習審議会の答申の趣旨に賛同した社会教育関係団体の代表者等5名(別添※印参照)により「社会全体で子どもをはぐくむ運動」は発案されるとともに、この運動の推進母体となる新潟県地域家庭教育推進協議会(以下「協議会」という)の設立発起人会が6月16日に発足しました。この発起人会の呼びかけにより、学校、企業、行政等各方面の団体の長等18人(別添参照)で構成される「協議会」が去る平成16年10月1日に設立されました。

第1回協議会では、会長に新潟大学教育人間科学部教授大浦容子氏が選任されるとともに、運動を具体的に展開するための推進プランの検討が行われました。推進プランの詳細については今年中に作成される予定ですが、今回は運動の概要についてご紹介します。

新潟県地域家庭教育推進協議会委員(敬称略)

新潟大学教育人間科学部教授	※(協議会会長)	大浦 容子
新潟県社会教育委員連絡協議会会長	※(協議会副会長)	尾崎 藤
社団法人 新潟県経営者協会専務理事		湯井 正晴
新潟県商工会青年部連合会会長		加藤 博
社団法人日本青年会議所北陸信越地区 新潟ブロック協議会会長		山岸 孝博
新潟県公民館振興市町村長連盟会長		関 広一
新潟県都市教育長協議会会長		堀川 武
新潟県町村教育長会会長		松岡 中雄
新潟県青少年健全育成協議会協議会会長		高野 桂子
新潟県小学校長会会長		丸田 整
新潟県中学校長会会長		池田 定充
新潟県幼稚園連盟会長		白井 一郎
新潟県体育連盟理事長		伊藤 清嗣
新潟県小中学校PTA連合会会長		野澤 浩吉
新潟県高等学校PTA連合会会長		早稲 豊
社団法人 新潟県社会教育協会会長	※	小林五代子
新潟県子ども会連絡協議会会長	※	武上保樹司
新潟県婦人連盟理事長	※	塚取いよ子

※印は発起人(順不同)

3 運動の趣旨

この運動は民間団体を中心に構成された「協議会」が推進母体となり、県及び市町村教育委員会が支援・協力しながら、それぞれの地域で具体的な子どもをはぐくむ実践活動に取り組む県民主体の運動です。

家庭や地域の教育力の向上を図るため、親も含めた地域の大人たちが「家庭教育や子どもの成長について学び合い、子どもたちに積極的にかかわる」意識を大切にし、家庭教育に関する学習機会の充実や学習活動への積極的参加、また、子どもをはぐくむ様々な地域活動への参画を全県で展開していきます。

この運動により、社会全体で子どもをはぐくむ気運を高め、それぞれの地域に根付いた実践的な取組が全県で展開されるよう進めていきます。そして、すべての子どもたちが、地域の大人にあたたかく支えられているという実感のもてる運動を目指しています。

4 運動の展開

今年度は運動が計画的に進むよう、推進プランを策定し、その中で、地域、行政、関係団体、学校、家庭等のそれぞれの役割に応じた具体的な取組を示し、平成17年度から全県で「社会全体で子どもをはぐくむ運動」に取り組むこととしています。

実践記録 シリーズ 80

第55回新潟県公民館大会 実践記録発表1から



市民の能力を引き出す 公民館づくり

上越市公民館 係員 松澤 博紀

●はじめに…上越市公民館の組織(省略)

●新たな市民活動の出発点として…パソコンサポーター育成講座(省略)
県公民館大会資料P16~18参照

●地域力を活かした特色あふれる事業

☆事例1) 三郷ウォークラリー「みんなの三郷よく知り隊!」…三郷分館
三郷地区は市中心部から少し離れた所にあり、人口は約1,400人。昔からの農村地区と新興住宅地が混在している地域です。小学校は地域内に1校のみであることもあり、地域と学校、また公民館とのつながりも良い所です。

◇ウォークラリーの概要

主 催…小学校PTAと公民館

※これまではそれぞれが単独で事業を行い、また内容等も互いに事前を知ることは無かったため、このような全校児童が少ない(約70人)地域では参加する子ども達の負担になる部分もありました。そのため、今年度はできるだけ子ども向けの事業を行う所と、事業を行うことによって子ども達の負担を減らすとともに、一つの事業の効果を高めるという部分もねらいました。

公民館の役割…案内チラシの作成・配布、当日使用する解答用紙、得点集計表の作成
地域の「名人」への講師依頼(1人)、準備場所(分館)の提供

※地域でできるものはできる限り地域内でお願いし、チラシ作成など、公民館職員の技術が必要になるものに関しては行政が担うという分担で行なっていました。

当日の運営…PTAを主体に行う。

※公民館側は事前の準備を手伝い、ウォークラリー中は全体把握と安全を確保するために各チェックポイントを見回る程度でした。



■ウォークラリーの様子

各チェックポイントは地域の方が担当しました

☆事例2) 子ども自由活動ひろは「わだっこ公民館」…相田分館

相田地区は市の南端に位置し、人口は約6,000人。地域内には二つの小学校があります。今回、そのうち1小学校での校長先生と分館協力員との何気ない会話からこの「わだっこ公民館」が生まれました。

◇「わだっこ公民館」とは…

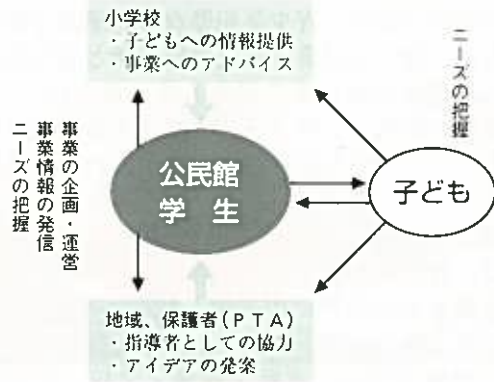
学校週5日制に対応する事業として、月1回土曜日に分館を開放し、地域の小学生が自由に集まり、時にはテーマを持って遊び、またある時には子ども達が自由に遊び・学習する場を提供する。モットーは「みんながたのしい公民館」

◇事業実施に向けて…

- ① 地元の大学(教育学部)に通う学生ボランティアを募集して子ども達と遊びや学習を共に行う他、企画運営にも携わってもらう。また、地域住民にも呼びかけて、公民館が企画した各種体験講座での講師をしてもらったりする等、さまざまな「お楽しみ」的事業をリンクさせながら行うようにする。
- ② 公民館と学生ボランティアが中心となって事業を企画・運営するが、常に小学校・地域との連携を図りながら子どものニーズを収集し、時には学校・地域からの助言をもらいながら事業を行う。(下図参照)



■第1回目の様子
〔「ゲームであそぼう」〕



◇最終的には…

分館を拠点にして地域の子も達が自発的にさまざまな活動を提案するようになり、それを公民館と地域住民が共に見守り、育てていく活動ができればと考えています。

上越市の公民館では、年間を通して継続的に地域住民・学校とともに活動するというは初めての試みです。今後の展開はまだ未知数ですが、地域力を活かし、地域住民が気軽に事業に参画できる公民館をつくり上げることができればと考えています。

●おわりに

現在の上越市は高田・直江津の市街地と、分館のある14地域がそれぞれ独特の地域性を持っています。このような地域に対し、行政は出すことなく、その一方でしっかりと下から支えていくような役割を果たすことが、地域力を活かした協働につながるのではないかと考えます。それは、行政側から「仕掛ける」様々な市民活動についても当てはまることです。それぞれ活動の主役は市民であり、行政はその活動を見守り、時には方向修正を手伝うという存在であることが必要と考えます。

上越市は14市町村の大規模な合併に直面しており、ますます地域性・地域力が多様化してきます。そうなる、いよいよ市民主導のまちづくりが必要になってくるのではないかと考えます。今後は、それぞれの地域力を掘り起こし、いかにしてそれを支援し、伸ばしていくかというところに行政の大きな役割があると信じ、自分自身その課題に立ち向かうことで、責任の一端を担っていきたくと考えています。

素敵に輝く仲間たち
歩々の会

「心豊かな人生を送るために生涯学習を通じて自己を高める努力を続ける」これが私達の会の目的です。会の名前は、「歩々は道場、一歩一歩が修業の場である」という禅の教えから名づけられたものです。



33名のメンバーは、長岡市中央公民館主催レディースセミナー講座の修了生で構成されています。平成4年に会が発足され、レディースセミナーの歴史と共に歩む歩々の会は、講座の企画に積

極的に参画し、運営に携わることも学びの大切な一環であると捉えています。足並みを揃えた活動は、まさに歩々の会の力の結集といえます。会の名前の如く、一歩一歩「無理をせずに」をモットーに、楽しみながら学んでいます。

（長岡市・歩々の会
代表 井上眞紀子 記）



なだち太鼓「紅」
名立太鼓連中

名立太鼓「紅」は、平成十二年七月に、大潟町にホームステイに来ていたアメリカ女性の名立太鼓連中の練習を見に来たのがきっかけで、女性だけの太鼓「紅」が立ち上がった。



翌月から女性メンバーを募り、翌十三年六月には糸西太鼓フェスタでデビューした。

最初は物珍しさもあり、義理で入会した人も今では積極的に、自分達で演奏場所を探して来るといふ活発な活動をしている。今では年間七回程度の出演がある。

ただ、演奏できる曲は一曲しかないのです、もっとレパートリーを増やし、愛される和太鼓「紅」目指し、頑張りたいものと考えている。

（名立太鼓連中
代表 高橋健一 記）

湯沢町公民館の看板娘、山崎さんを紹介し

彼女は、昨年新採用でこの湯沢町公民館に配属され、新しい風を運んできました。毎日、明るい爽やかな笑顔を絶やさずに仕事をこなしています。今では、この湯沢町公民館にはなくてはならない存在になっています。現在は、家庭教育、子育て支援、図書室の運営、各種講座を担当し、戦争のような毎日を小さな身体



湯沢町公民館
主事 山崎久美子さん

でがんばっています。

彼女は、いつも講座生の意見を聞き効果的な活動が展開されるよう、前向きに努力しています。また、講座生や講師の先生からは、彼女のまじめな仕事ぶりに信頼を置いています。これからの町民のため公民館事業の発展、そして湯沢町のためにがんばっていただきたいと思います!!

（湯沢町公民館 南雲 哲 記）

生涯学習課の施設管理係と経理全般を担当しながら、2地区の公民館を担当している。利用者、役員の皆さんからは絶大の信頼を得て「未来さん」と呼ばれている。

身長173cm、体重数年前まで59kg、まさに今話題の韓国スターのようであった。

しかし、これも愛妻弁当のせい、若しくは燕特有の背油入り太麺ラーメンせいかわからないが自称99kg。まだまだ



燕市中央公民館
主任 田中未来さん

成長しているようだ。

そんな彼の趣味は多彩である。ダイエットに始まり、カメラ、テニス、ロックギター、車、パチンコどれをとってもプロ級の凄腕である。

今晚も会議の資料を持って地区公民館へ出かけていった。ガンバレ「未来さん」

ちなみに特技はリバウンドだそうです。
（燕市中央公民館 遠藤 丈弥 記）

素顔
拝見

この資料は、(社)全国公民館連合会が、平成13年度文部科学省の委嘱事業である「青少年の奉仕・体験活動に関する公民館の役割」の調査研究を行い、その結果を取りまとめ、刊行したものです。

内容は、I調査の概要、IIアンケート調査(「青少年の体験活動事業について」)「青少年の社会奉仕体験活動事業について」(「青少年の体験活動



事業・社会奉仕体験活動事業の課題について(「自由意見」)、III訪問調査(「1都1府13県内公民館への現実調査」)、IV事例調査(「14事例」)、V資料編によって構成されています。

P131にわたる大冊ですが、皆様方の参考に供するため全国から優れた活動実績を収集し、データベースとして整理し、掲載されております。

これらの調査研究が、新潟県内公民館事業のさらなる充実・発展に寄与するよう刊行されたものですので、活用・実践化を大いに期待しております。

恵贈資料紹介

地域で子どもを育てる新しい公民館活動

(社)全国公民館連合会

Net work

ネットワーク

平成17年度 社会教育関係各種大会予定

公民館関係

- 新潟県公民館大会
平成17年7月15日(金)
白根学習館 参加費2,000円
- 関東甲信越部公民館研究大会
平成17年8月25日(木)～26日(金)
神奈川県横須賀芸術劇場 参加費3,500円
- 全国公民館研究集会
平成17年10月13日(木)～14日(金)
兵庫県立文化体育会館 参加費4,000円
- 中越地区公民館関係役員等研修会
平成17年9月29日(木)～30日(金)
佐渡市 参加費未定

社会教育委員連絡協議会関係

- 新潟県社会教育研究大会
平成17年10月13日(木)～14日(金)
上越市
- 関東甲信越部社会教育研究大会
平成17年9月8日(木)～9日(金)
千葉市
- 全国社会教育研究大会
平成17年10月26日(水)～28日(金)
帯広市

急告

平成16年度 中越地区公民館長・主事・公運審等研修会は、今回の地震災害のため、中止されました。

event information

新潟県中越地震による災害お見舞い

この度の地震により被害を受けられました皆様に、心からお見舞い申し上げます。

一日も早く復旧されますよう、お祈り申し上げます。

社団法人 全国公民館連合会提供
(公民館総合補償制度)

取扱センター **エコー保険サービス株式会社**

〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-18

TEL ☎0120-636-717 (または、03-5562-0730)

FAX ☎0120-226-916 (または、03-5562-0732)

あ と が き

突然の中越地震災害発生して紙面第2面と第8面を大幅に差し替えさせていただきました。

全公連はじめ全公振連、そして、埼玉県公連から早速お見舞いとご激励をいただき、元気づ

けられております。

このうえは、被災地公民館関係の一日も早い機能回復と、関係者の健康保持を祈念するのみです。

(鈴木記)

表紙解説 西川町「キッズ倶楽部 そば打ち体験」 9月に実施のキッズ倶楽部の体験学習では、福島県柳津へ行き、そば打ち体験や地熱発電所の見学をしました。

発行所 **新潟県公民館連合会** 発行人/会長 佐藤信幸 編集人/事務局長 鈴木友夫 Eメール/ni-koren@juno.ocn.ne.jp
〒951-8053 新潟市川端町2-9・県林業会館内 TEL・FAX (025) 224-6073

印刷/第一印刷所 〒950-8724 新潟市和合町2-4-18 TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776 【定価1部150円 年共1,800円】